

平成30年度 病院事業局運営プログラム

<短期アクションプランの目標指標 (H32) >

—

主要事業及び重要業績評価指標 (KPI) 等一覧

番号	主要事業	主な取組み内容	KPI	H29 計画	H30 計画	進捗状況	短期APにおける位置づけ (テーマ-施策-主要事業)
				直近値 (H29 実績値)			
1	<ul style="list-style-type: none"> ○医療提供体制の整備 ○総合的ながん対策の推進 ○こころの健康づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療従事者の確保・定着等に向けた取組みの充実 ○地域における医療機能等の強化 ○救急医療体制の強化 ○がん医療及びがん患者とその家族に対する支援の充実 ○こころの健康を回復する取組みの推進 	○初期臨床研修医受入数 (翌年度採用分)	中央16名 新庄2名	中央16名 新庄2名	概ね 順調	2-1-(1) 2-1-(3) 2-1-(4)
				中央15名、新庄2名 (H29年度)			
			○新庄病院の改築推進	基本計画策定	基本設計着手	順調	
				H30.3基本計画策定			
			○救急車搬送件数	中央3,290件 新庄2,400件 河北1,140件 こころ20件	中央3,232件 新庄2,350件 河北1,140件 こころ15件	概ね 順調	
				中央3,226件、新庄2,337件、 河北1,122件、こころ14件 (H29年度)			
			○がん相談件数	中央1,920件 新庄456件	中央2,300件 新庄450件	順調	
				中央2,479件、新庄479件 (H29年度)			
			○精神科救急病棟の3ヶ月以内 在宅退院割合	70%以上	70%以上	概ね 順調	
				69.5% (H29年度)			

(部局運営プログラム個表)

		病院事業局		
番号	主要事業	K P I	H29計画値	H30計画値
			直近値 (H29実績値)	
1	○医療提供体制の整備	初期臨床研修医受入数（翌年度採用分）	中央16名 新庄2名	中央16名 新庄2名
			中央15名、新庄2名（H29年度）	
		新庄病院の改築推進	基本計画策定	基本設計着手
			H30.3基本計画策定	
	救急車搬送件数	中央3,290件 新庄2,400件 河北1,140件 こころ20件	中央3,232件 新庄2,350件 河北1,140件 こころ15件	
		中央3,226件、新庄2,337件 河北1,122件、こころ14件 (H29年度)		
	○総合的ながん対策の推進	がん相談件数	中央1,920件 新庄456件	中央2,300件 新庄450件
			中央2,479件、新庄479件 (H29年度)	
	○こころの健康づくりの推進	精神科救急病棟の3ヶ月以内在宅退院割合	70%以上	70%以上
69.5%（H29年度）				
短期APにおける位置付け		テーマ2－施策1－主要事業（1）医療提供体制の整備 テーマ2－施策1－主要事業（3）総合的ながん対策の推進 テーマ2－施策1－主要事業（4）こころの健康づくりの推進		

施策の評価と今後の推進方向等

〔前年度までの主な取組み状況〕

- 医療従事者の確保・定着等に向けた取組みの充実
研修医や看護師募集の説明会へ参加したほか、コメディカルの養成学校への訪問、ホームページやSNS等を活用した情報発信等により、採用活動を行った。また、保健医療大学及び米沢栄養大学との連携による臨地実習等を行った。
- 地域における医療機能等の強化
新庄病院の改築整備について、山形県立新庄病院改築整備基本計画専門家会議を開催し、「山形県立新庄病院改築整備基本計画」を策定した。

○救急医療体制の強化

救命救急センターでは、救急科医師が土日も勤務し、365日「断らない救急」をめざした円滑な救急患者受入れを徹底するなど、受入れ体制の強化を図った。

○がん医療及びがん患者とその家族に対する支援の充実

県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院として、中央病院に「緩和ケアセンター」を設置し、緩和ケア支援専門員（ジェネラルマネージャー）の配置等の体制整備を行った。また、「がん相談支援センター」（中央、新庄）の取組みの周知や在宅訪問診療（河北）により、患者やその家族に対する支援を行った。

○こころの健康を回復する取組みの推進

精神科認定看護師の育成や、公認心理師などの専門資格の取得を促進し、専門性を活かした医療の提供を実施した。また、こころの医療センターにおいて医療情報システムを整備するなど、各県立病院が担う医療機能に応じ、計画的な施設・医療機器の整備を行った。

【評価・課題等】

○人口減少や少子高齢化の進行、医療の高度化・専門化に対応する必要性、さらには医療と介護の一体的な制度改革など、病院事業を取り巻く環境は大きく変化しており、それらに応える医療従事者の確保や質の高い医療の提供を推進していかなければならない。また、このことに伴う医療ニーズの変化に備え、医療連携、機能分担、地域包括ケアへの対応の必要性が高まっている。

【今後の推進方向等】

- ホームページやSNS等の活用により積極的な採用活動を継続して実施し、医師をはじめとした医療従事者の確保に努めていくとともに、大学等との連携を推進し、県内における医療人材の育成及び定着を図る。
- 各病院の役割を踏まえ、地域包括ケアシステム構築への支援を推進し、地域の介護・福祉施設との連携を図る。
- 認定看護師の育成や医療技術員の専門資格取得について引続き促進していくなど、職員の資質及びモチベーションの向上を図る。

【平成30年度の主な取組項目と事務事業】

- 医療従事者の確保・定着等に向けた取組みの充実
 - ・大学や県立病院間の連携強化
 - ・SNS等を活用した情報発信
- 地域における医療機能等の強化
 - ・新庄病院改築整備における基本設計の着手
 - ・地域の医療機関及び介護・福祉施設との連携強化
 - ・医療情報ネットワークの活用推進
 - ・中央、新庄、河北病院における医療情報システムの更新整備
- 救急医療体制の強化
 - ・円滑な救急患者の受入れの徹底
 - ・手術室の効率的運用
- がん医療及びがん患者とその家族に対する支援の充実
 - ・がん患者相談支援に携わる医療従事者の研修、「がん相談支援センター」（中央、新庄）の周知促進
 - ・在宅訪問診療の実施（河北）
- こころの健康を回復する取組みの推進
 - ・資格取得促進による職員の資質向上
 - ・福祉施設等との連携による入院患者の地域移行、地域生活支援の推進